常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

御婚礼家具
一式
御引物用 漆器類
豊富取揃
あるが
平銀座電223番

腰本に限制児産

炭礦常磐る挙げ果成

常磐炭礦では二十八年以来同礦磐崎礦をモデル地区に指定、国立公衆衛生院などの協力のもとに計画産児の実施指導を行つているが、実施成績が非常に良いので更にこの計画産児実施を全山に拡大指導するため、林田礦業所長を会長に「常磐炭礦家族計画推進委員会」を結成、三月一日から発足することになつた。一つの事業所が一体となつて計画的に産児制限の指導、実施に乗り出すことは同礦業所が県下初の試みでもあるのでその成果は各方面から注目を集めている。

同会の発会式は三月一日午前十時から常磐市湯本自治会館で挙行されるが、同日は国立公衆衛生院長古屋とも彦博士らの「計画産児の実施問題」などについての講演も行われることになつている。

全山擧げて実施
家族計画推進委を結成

指導員募集

なお同礦ではこの計画産児にともない直接指導に当る「補導員」を一般から募集す、

募集人員は二十名、産婆、保健婦の有資格者で出来るだけヤマの千女から優先募集する意向、申込締切は十三日で、試験は十五日、希望者は同礦業所労務課厚生係まで申込めばよい。

労働・民生委員ら視察

県議堀労働委員、馬目民生委員らが九日午前十時ごろ平職安所を訪れた、これは郡下の労働状勢視察のためで、九日は失対事務所、労政事務所、職安所の三カ所で各所長らに状況をきゝ、十日には磐城市と植田地区の失対事業現場を視察する、

嘱託医会議

平保健所管内嘱託医会は十四日午後一時から保健所に約十五名が集まり▽生活保護法医療扶助申請について審議する、

「磐詠会」発足

常磐市左波古置定民他四名発起人となつて設立を急いでいた「詩歌詩吟、民踊、舞踊、研究会設立準備会」は七日午後一時から湯本公民館で開かれ会名を「磐詠会」と呼ぶことを決めたのち他次の役員を選任して発足した、

▽会長大井川正巳、副会長会田富治岡立花義次、顧問中野総一各氏

きよう通水式
日鉱柿の沢発電所完成

田人村柿の沢地内に工事を進めていた日礦KK柿の沢発電所が完成し、九日、トンネルの通水式を行つた、

同発電所は去る二十八年六月初旬着工して以来郡下工事場最高の死傷者を出したところで、一月十日の早朝にもトンネル内で作業をしていた工夫がハツパ後くずれ落ちた岩石の下敷きとなり二名即死二名重傷の惨事をおこしている、こゝの電力は四百Kと云われ東京電力の配電線によつて日立に送られる、

平駅の渡線橋補修

平駅ではこの程二十万円の工事費を計上して構内さん橋の両側修理工事を始めた、

大規模な修理は昭和十九年以来行わず、一年に二度位補修工事をして来たもの、全国各地で駅桟橋がくされて危いから何とかしてくれと云う声が挙つている現在利用者の安全のために工事を進めている平駅は通勤、通学者から喜ばれている、完成は今月十五日ごろになる見込み、

振わぬ平競輪

二月平競輪前節は五、六、七の三日間行われたが、客の出足少く、売上げもイレス三十万前後という低調振りであつた、三日間の総売上げは一千四百二十六万一千三百円で前月に比べると三百万減となつており、月平均売上げ三千七百万に達するにはむずかしいと云われている、なお後節は十二、十三、十四の三日間行われる、

ジフテリア予防接種

平市役所市民課では種痘、ジフテリア予防接種を次の要項で実施する事になつた

▽種痘を受ける者▽生後二カ月から十二カ月迄の者（第一期種痘）、▽十二カ月以上の者で第一期種痘を受けぬ者▽本年四月就学する者、▽ジフテリア予防接種を受ける者、▽生後六カ月より十二カ月迄の者、▽生後十二カ月以上の者で第一期を受けぬ者、本年四月就学する者なお料金は拾円で、生活保護者は免除する。

平消防に優秀賞
日本消防協会から三度目の表彰

平市消防団は戦後弱体化した消防の機械力を補充増強したのを初め地下貯水槽の設置、消防技術の研究練磨などその成績特に優秀であるとし、十一日、日本消防協会から表彰されることになつた。

平市消防団は明治二十七年勅令によつて組織された平消防組を基礎として、昭和十二年平窪を合併して四部制となり、更に昭和十四年防護団を統合して警護団となつた。戦後消防団を改編して現在の団制となり、更に二十九年には豊間外三カ町村を合併して八ツの単位消防団制に改編した平市内消防団中最も充実を誇る団で県消防強化運動の推進体としても知られ、既に昭和十年には大日本消防協会長賞を、同十四年には大日本警防協会長賞と消防最高の名誉賞を二度も授与されている

飯野、神谷両村を合併して六分団制となり、更に二十九年には豊間外三カ町村を合併して八ツの単位消防団制に改編した平市内消防団中最も充実を誇る団で県消防強化運動の推進体としても知られ、既に昭和十年には大日本消防協会長賞と消防最高の名誉賞を二度も授与されている

青年學級研究大會

石城地方公民館連絡協議会主催の石城地方青年学級研究大会は来る十八日午前九時から勿来町公民館で開催される。指導講師として坂下誠氏（相馬郡上真野小学校長）が当る事になつた。

研究発表題目は、▽郡公連のカリキュラムは如何にあるべきか、▽青年学級の振興を図るために他の団体との関連は如何にあるべきか、▽青年学級の自主的運営は如何にあるべきか、何参加者は十五日迄に勿来公民館宛申込む事。

五周年記念式
平第二婦人会

平第二婦人会（会長鈴木初子氏）の結成五周年記念式典は十三日午前十時から平第二小学校で盛大に開催されるが、

各クラブの作品展示と発表会を行う他大橋秀冬氏の講演がある

北日短歌会

北自短歌会は午後一時から平市北目町鈴木牛乳店で開く、参加者は近詠二首を十一日までに北目町鈴木久一宛申込むこと

教習所に指定
東部石炭協会に通達

東部石炭協会（内郷市内町字前田）は七日通商産業、大臣石橋湛山氏から炭礦技術員教習所に指定された。これにより民間保安技術講習施設が認められ、国家試験の筆記試験が免除される保安技術講習所となつた。

保健所流感防止に警告

関東地方でインフルエンザ（流感）が発生しているが、これについて平保健所では予防対策として、入試又は就職関係で上京する者は市町村役場の掲示板等を利用して予防接種を受ける様警告並に、労校、幼稚園、保育所、工場などの集団生活に於ては充分なる注意をして、発生した場合は一時も早く保健所に連絡し又は隔離し各人の協力を得て予防に万全を期す事になつた、

きようシメ張り
浦が見二所名新平

平市の新名所となる豊間「二見ガ浦」のシメ縄張り初めは九日午前十時から関係者多数が二見ガ浦海岸に集まつて挙行された。

出来上つたシメ縄は長さ約七十米、重さ百五十貫という大きなもので、縄の一番太い部分は一米を越している。シメ縄の材料は遠藤豊間支所長寄贈のワラや常磐炭礦寄贈のワイヤーロープ（二百米）とタワラ五十俵をよういして作られたものでこれが二見ガ浦に張り出されば伊勢の二見ガ浦よりも絶景であろうと評されている。また平市観光課では、年一度シメ縄を新らしくする行事を計画し、八幡神社から

出生一死亡

（九日届出敬称略）

出生＝才穂小路二〇市吏員八重樫秀雄三女佳子、仲間町二二大工江尻芳夫長男徳昭、仲間町七一とび職鈴木徳治長男誠一郎、梅香町鉄道員松本久長男尊久、

死亡＝旧城跡三大工頭口元治（六五）一丁目八無職渡辺宏（二）、

常磐市横町通り
呉服と服地
白木屋呉服店
電話常磐173番

コブガハラ神社でシメ縄に魂を入れてから、平市―飯野―高久を通つて豊間に持つて行こうとしている。重さも二百貫位にして各部落の青年連に担がせようというもの。

天気予報

（今晩）東よりの風晴時々曇りの天気でしよう
（明日）西及至南の風晴時々曇りの天気でしよう
（海上）今晩はおだやか明日は日中風波が出ましよう

謝恩
花
平市大町
電話三八九

慈源院 霽送の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜り御芳志の段誠に有難く厚く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上げるが本意で御座いますが略儀乍ら紙上以て御礼の御挨拶申上げます
昭和三十年二月九日
平市大町
喪主 水野隆介
友人総代 佐々野久芳
親戚 井兆一

淨欄院 霽送の際は御繁忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且御鄭重なる御香奠を賜わり御芳志の程厚く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上ぐべきところ略儀乍ら紙上を以て御厚礼申上げます
昭和三十年二月九日
平市田町六十七番地
喪子 石川陽山
外親戚一同

味と安さで
有もだ
郷土の詩 白鳥の雪
灘の銘酒 松の家

湯とうふ……30円
シユーマイ……30円
◉本日の御献立◉
板わさ……30円
カキフライ……40円
サザエのつぼ焼……60円

居酒屋
まるを
平市中央通り電1820

特賞に輝く
ヤマフル味噌醤油
電話……10番
味は断然一番
鹽屋

東京＝平＝仙台 定期
「増車」
磐城貨物自動車KK
平営業所
平市月見町電一八七
東京―平―仙台間の荷物一般貨物自動車並三輪車の御用は是非電一八七番へ御用命下さい

煙突掃除のいらない
常磐炭礦の石炭
電話37番 237番へ
1俵よりお届けいたします
平市田町
常磐炭礦販売会社

ピッタリとお気にアロまつこと うけ合い!!
平市大通り
正札堂洋服店

味のシューマイ
自慢のワンタン
特製しるこ
出前迅速
さかえ食堂
平市駅前 電九八八番

珠算試験合格者　平商議所（1）

▽一級
商木利子、四家文子、馬上嘉市、

▽二級
大塚秀夫、本田昭夫、芳賀幸子、小菅和夫、馬目勝子、小谷育子、小野ヤイ子、谷木英、新妻秀治、愛川和哉、山際恒夫、川井利彦、佐川仁枝、水竹ケイ子、渡辺トシ子、吉田ツネ子、佐藤ヤス子、渡辺登美枝、鈴木美津江、吉田伯枝、根内千寿

▽三級
小林功、安部芳美、伊野良行、小菅健一、秋元獻子、若松勝子、会田栄一、商木良子、中川桂子、鈴木タカ子、田子正太郎、草野和威、石井キヨ、夏井利男、吉田哲夫、野上照子、渡辺友子、後藤幸市、鈴木勇、赤津喜代、矢島恵美子、鈴木璽、猪俣巌、川島正一、柴田幸一、蛭田久夫、渡辺忠男、根本勝弘、清野正則、小谷野真一、塩田敏子、桑名節子、草野和子、治清勝、酒井文夫、稲福保美、片倉勝子、今田ミチ子、永山幸子、川上正勝、山口節子、新妻孝子、商森洋子、渡辺トキ子、本間千鶴子、志賀信子、小山令子、長谷川司、鈴木孝則、猪狩多嘉子、後藤美智子、岡田美津江、鈴木キリノ、安斎祐子、草野忠衛、根本宮江、久田栄八重子、添山朝子、黒坂剛、末永富子、奈良良子、水野谷光子、村上妙子、堀川朝子、大越知二、篠原弘、加藤律子、鈴木恵、芳賀礼子、荒川信雄、佐々木哲夫、斎藤昭一、山本勝房、弁雄、野宏、岩間佳代子、中川幸子、安雄、田英弘、かじ間啓子、宮田和子、喜美子、下部悦子、飯島一子、田口静子、カケイ喜代子、鈴木ひさ子、橋本繁都、水口富美子、青山礼子、市川陽子、赤津幸子、名雪和夫、吉田伯枝、平子美登里、本田イサ子、勝沼美恵子、川田房子、西郡正顕、平松章佑、星野武子、小島登美子、岩井康子、土井一郎、佐藤智枝、志田トシ子、渡辺博子、仲井晴明、矢吹宗雄、水竹圭一、高橋紀三郎、永瀬紀子、以上二四名　（三級以上）

南赤井の平合併
十一日から編入発足

平市は昨年一月豊間、高久、夏井、草野など一町三カ村を合併したが赤井地区も当市に含めようと種々計画を立て、これに基付き昨年十二月平市及び赤井の両者により合併決議が行われ、十二月の家例県議会の決議を経て二月十一日を期して南赤井が平市に編入する事になつた。

これにより当市は行政、経済の合理化による民生の安定と福祉の向上も約され、平市将来の多角的な発展の基礎が出来上り、世帯数一万四千七十九、人口七万五百四十名、面積一万六百七十八平方キロとなり大平市として発足する事になつた。

水かけ祭賑う
沼の内辨天の奇祭

平市豊間字沼の内弁天様の恒例「水かけ祭」は七日早朝から威勢のいい若者のかけ声で幕をあけ、年一度の奇習をみようと近郷近在からつめかけた約六万の人出で賑わつた、此の祭は俗に火災除けのお祭とも呼ばれているので去年一月十五日から今年まで隔れて結ばれた男女を祝い新夫は裸となり村の若者連が運んで来る聖水を頭からかぶるという変つた慣し、終つて竹の先につけたタンザクを奪い合つて取る場面があるが、このタンザクを家に持つて帰ると火災を妨ぐことが出来るという

なお、今年の新郎新婦は十一組あつたが、水を浴びた新夫は六名

和田先生の美挙

磐城市江名中学校川和田勇先生は自己受持ちのA、B両生徒の長期欠席を憂慮するため昨年以来自家に引取、通学させ、目出度く今春卒業し得ることになつた、此の両生徒の、家庭は中流以上の生活状態であり、学業も良好であつたのが、一寸した、はずみから悪の道へ迷つたもので、今回の先生の愛情は両親は勿論町民からも感謝されてる。

待合室で置引

八日午前十一時ごろ好間村上好間

婦女子の坑内作業
労基署徹底取締指示

最近中、小炭砿で年少者や婦女子を坑内労働に従事させている傾向があるのを重視した平労基署では去る四日午後一時から管内中、小炭砿の責任者を集め「労基法第六十四条違反行為をおこさないように」を中心に話し合つたが、労基署から出席を求められた四十事業場のうち会に出席したのは新品川佐々木、不動沢、今村坑、菊田など六所であり、労基法に対する熱意がないとみられる残りの三十四事業場に労基署は徹底的な態度に出ると言明している。

年少者、婦女子を坑内に入れてはならないことを知つていながら坑内労働をさせている。最も大きな原因とみられるものは各事業場に於ける労務管理の不徹底であると云われているが、坑内夫が急に欠勤するとその欠員補充のために坑外の年少者或は選炭婦らを入坑させねばならないと云うのが事業者側の声のようである。一月中に違反行為で調べられた赤井村S炭砿の場合もその日はどうしても貨車積みをせねばならず。欠勤者も多かつたところから、婦女子を使つていた。平労基署では従業員の少ないヤマの坑内夫が欠勤する時は出来るだけ前日に欠勤届を出し、六十四条に違反しないことを認むと各所に通達、午後三時すぎ散会した。

齋藤に二年求刑
平の愛人殺し公判

去る十二月一日平市古鍛治町旅館「明快館」の奥座敷四畳半で愛人古河好間炭砿発電所工員斎藤一夫（三五）にかける公判は八日午後二時から地裁平支部で開き中村検事から三年を求刑、でが判決は十八日

八千円寄附
水野隆介さん

平市大町水野隆介氏は故ハルさんの遺志により八日廿八区内青年会に一千円、平隆老園に二千円、平遺族会に一千円、平消防団に二千円、同第三分団に二千円、合計八千円をそれぞれ寄贈した、

ス・ダンスの講習会

スクエアーダンス石城サークルでは十三日午後一時から四時まで平第一小校講堂でスクエアーダンス講習会を開く、初心者大歓迎

植田駅を表彰
六期無事故で

常磐線植田駅では九日午前十時水戸管理局長川又久夫氏臨席のもと

農業基礎調査説明会

磐城市役所では農業基本調査説明会を十一日午後一時より市役所会議室に開く

此れは二月一日現在を以て施行されている。県農業基本調査によつて、農業の実態を把握し、将来農業施策の基礎とするもの

土砂崩れで一名死亡

五日午後零時三十分ごろ植田―小浜間県道付替工事山切土作業現場に土砂くづれがあり土工増子正一さん（四七）は植田町根小屋下敷きとなり全身打撲左大部骨折で勿来町前田医院に担ぎ込まれ手当をうけていたが、七日午後一時三十分ごろ死亡した、

今週の映画

◎世界館　夜の部　六、二九（九日まで）孝子五郎正宗　大江戸千両ばや子　ほたるの光
◎民劇　夜の部　六、三〇（九日まで）神州天馬峡　戦国秘聞　スラバヤ殿下
◎平館　夜の部　六、一七（十一日まで）力道山にいどむ木村　白鷺三味線　浮雲
◎ひかり座　夜の部　七、一〇（十四日まで）アフリカ縦断　彼等は馬で西へ行く
◎聚楽館　夜の部　六、三〇（十五日まで）沿岸警備隊　ダイヤルMを廻せ

理美容器具販売員急募
▽十八才ヨリ二十三才位迄（男）　五名
▽通勤出来る者、委細面談
業務用と一般バリカン。ハサミ。カミソリ。研と修理安価で切味をモツトーとする当店で是非御試研下さい
丸一製材工場通り四軒目
理容師組合指定
理美容器具研と修理
齋藤研修店
平市鎧宮町　電一九六三

名産
鰹節
ほしやなぎ
平四
電二一三番

寿しのみしま
仲の町　電915

割烹酒場　潮月
平電一〇七三